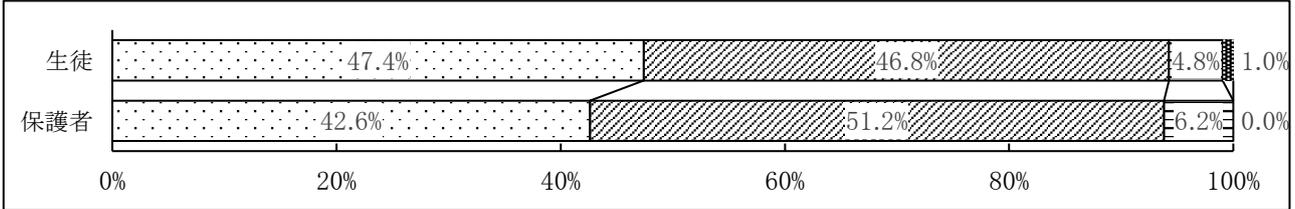


学校評価アンケート結果及び分析 生徒・保護者(令和6年度)

あてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 あてはまらない

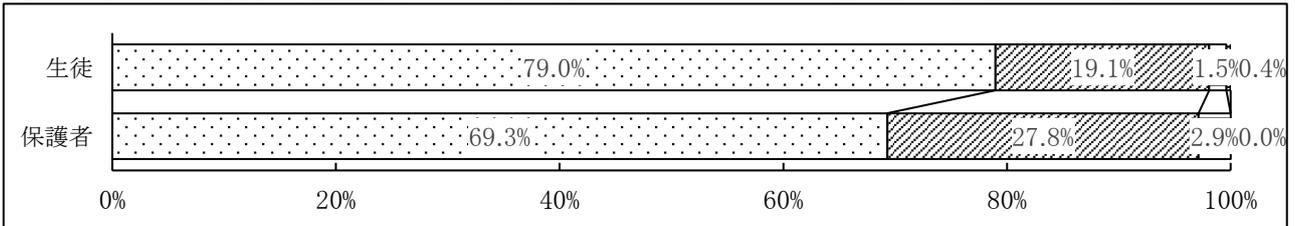
① 本校は、生徒の学力向上のために、授業を中心とした学習活動に熱心に取り組んでいる。



習熟度別授業、ICT活用、指導の工夫など各教科の取り組みが評価されていると思われる。学習をしようと前向きに取り組んでいる生徒が多く、保護者の方々も理解を示してもらっている。今後も授業の質を高められるよう努力していきたい。

評価
生徒 A
保護者 A

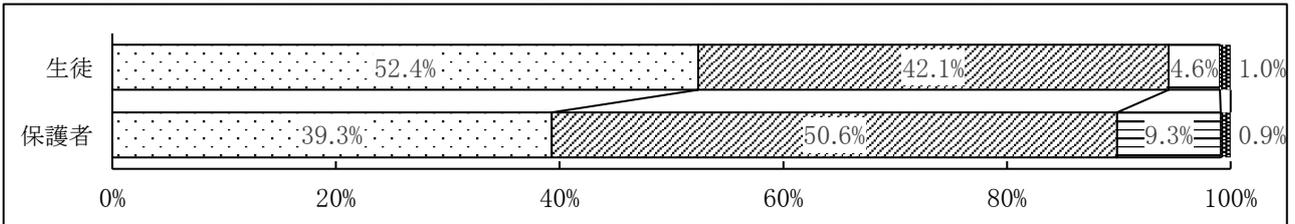
② 本校は、学校行事(葉聖里祭、クラスマッチ、合唱コンクール等)に生徒が主体的に参加している。



積極的な行事参加が見られた。企画、運営から生徒が主体となって活動、行動できた。今後は内容の充実をさらに研鑽して今以上の大会数字を残せるよう努力したい。

評価
生徒 A
保護者 A

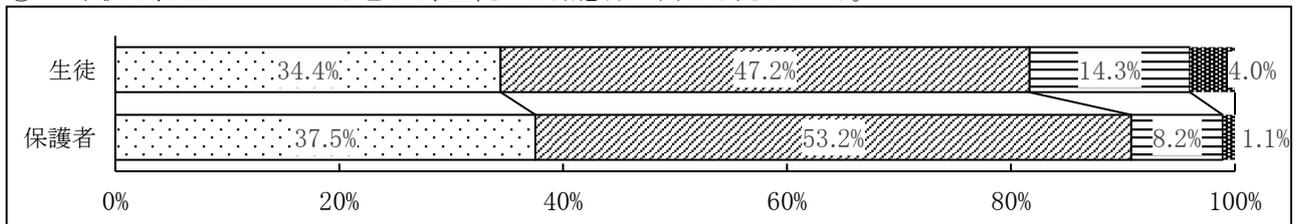
③ 本校は、生徒の進路決定・実現のために適切な情報提供および指導を行っている。



受験については、生徒はもちろん保護者も情報を取り入れなければならないが、受験方法や進路先も多様化・複雑化しているため、分かりやすい情報の提供を考える必要がある。

評価
生徒 A
保護者 B

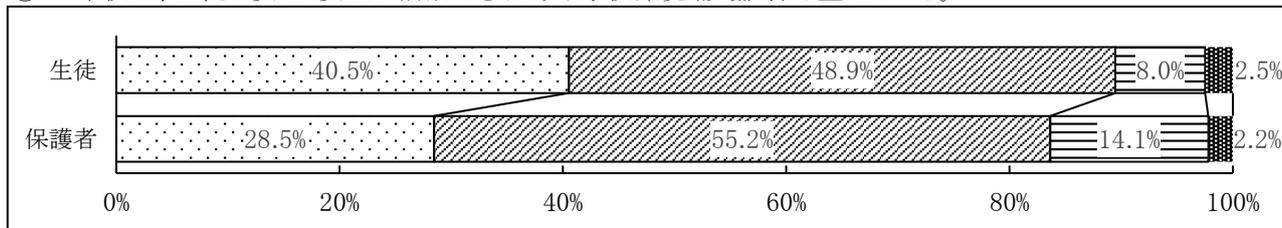
④ 本校は、Keiプロジェクトを通して、生徒の進路意識の向上を促している。



Keiプロジェクトを通して、生徒は社会の様々な課題に向き合うことにより、進路に活かしている生徒も増えている。以前より福祉系・農学系などへの進学者が増えたのは、今まで目を向けていなかった課題に気づいた生徒が増えているのも理由の一つだと思う。進路意識を「受験の意識」と捉えると、受験方法や受験のための準備等にKeiプロジェクトから直接つながらない生徒もいるので、生徒が進路に目を向けたときに、具体的に動き出せるような仕掛けが必要である。

評価
生徒 B
保護者 A

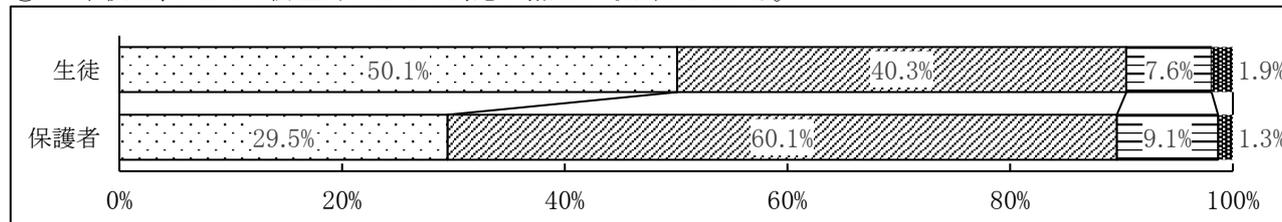
⑤ 本校は、生徒が安心・安全に活動できるような学校環境(設備等)を整えている。



私立高校と比べ整っていない部分は多数ある。しかし、整うよう事務部と協力して十分に努力しているところである。修理や清掃・処分なども行い予算を掛けずにやれるところから実施している。生徒には日ごろから協力してもらい、予算を浮かせて更に充実するよう改善していきたい。保護者には、整備状況が分かるように発信していくようにする。

評価
生徒 B
保護者 B

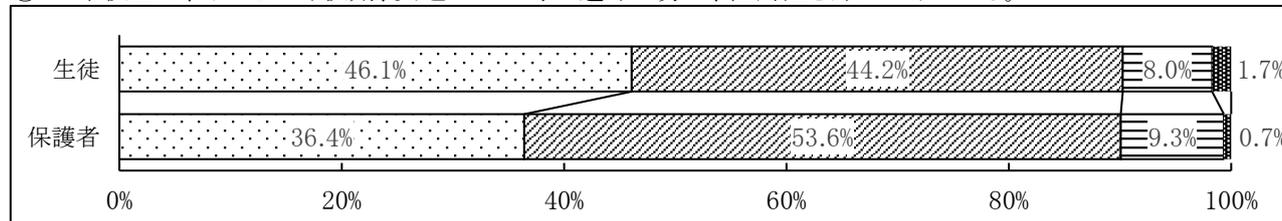
⑥ 本校は、いじめの防止やいじめの対応に熱心に取り組んでいる。



生徒・保護者共に、「あまりあてはまらない。」「あてはまらない。」の回答者人数が各クラス3名、「あてはまらない。」の回答者人数は生徒全体で約10名、保護者全体で5名という結果であった。いじめについては、100%を目指して日々の指導を確認・点検をして改善する。

評価
生徒 A
保護者 B

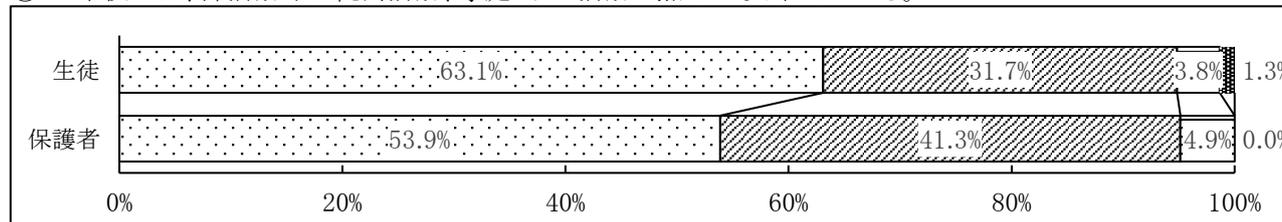
⑦ 本校生は、あいさつや校則、交通ルール等の遵守に努め、社会性を身につけている。



概ね良好である。交通面では事故がR4. 2件(1年生2名)R5. 3件(1年生2名・2年生1名)、R6. 5件(1年生4件・2年生1件)と増えているため、学校の通学に慣れていない1年生への指導をしっかりと100%目指す。

評価
生徒 A
保護者 A

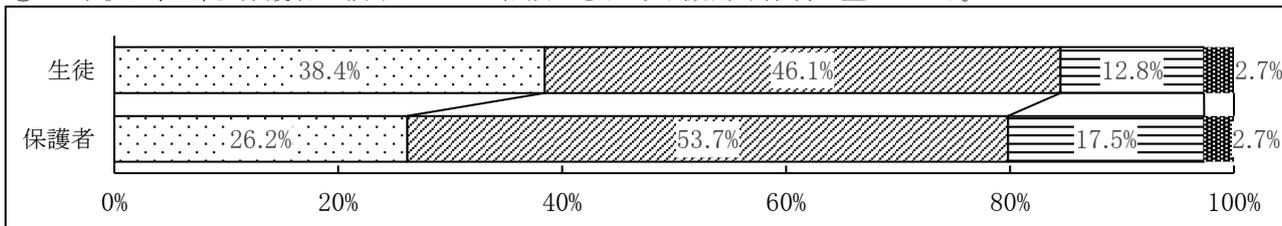
⑧ 本校生は、部活動や生徒会活動、家庭クラブ活動に熱心に取り組んでいる。



活動は概ね良好であった。各部、生徒会、家庭クラブともに生徒が主体となり活動を展開できた。部活動においては上位進出、入賞の部も増え、更なる活躍および活性化を目指したい。

評価
生徒 A
保護者 A

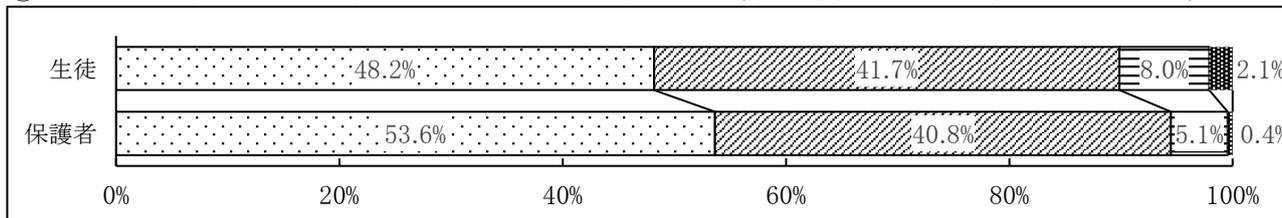
⑨ 本校は、生徒・保護者が悩みについて相談できるような機会や体制が整っている。



生徒については、担任副担任だけでなく、どの先生にでも相談しやすい環境の整備やスクールカウンセラーの利用などをもっとアピールしていきたい。保護者については、2年生の保護者が多くの悩みを抱えているように推察できる。特に進路決定のためのコース選びについて、保護者への説明会や3者面談などの機会を増やしたり、その他の悩みについては、スクールカウンセラーの利用を進めることも継続する。

評価
生徒 B
保護者 C

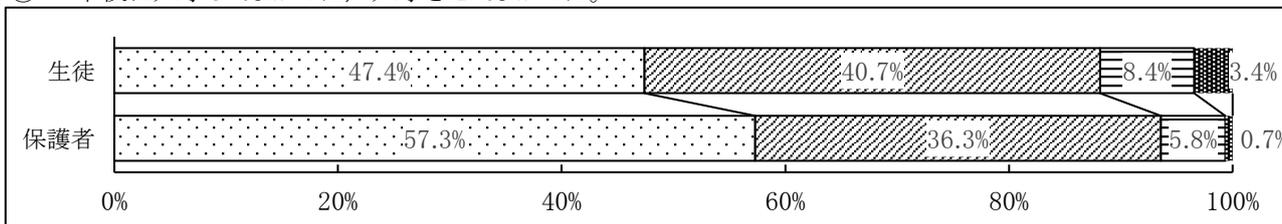
⑩ 本校は、教育活動について、Classiやホームページ等を通して、ご家庭や地域の方々に広く情報を提供している。



生徒・保護者ともに「あてはまる」が上昇した。特に保護者の「あてはまる」が昨年は38.4%であったが今年度は53.6%と大幅に向上し、「ややあてはまる」と合わせて94.4%になった。この背景には昨年度から本格的な運用が進んだClassiを通じた保護者や生徒への連絡が、十分に軌道に乗ってきたことがあげられる。今後も適宜積極的な情報発信を続けていきたいと考えておりますので、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

評価
生徒 A
保護者 A

⑪ 本校に入学してよかった／入学させてよかった。



昨年度と比較すると、生徒は「あてはまる」が40.8%から47.4%へ向上、保護者は61.0%から57.3%にやや低下であった。今年度は新型コロナウイルスが5類へと移行し、実質的に行動制限が廃止となり、学校行事も今まで同様に実施することが可能となった。今後も生徒や保護者から、佐野東高校を選んで良かったと思ってもらえるような学校づくりに、我々教職員一同励んでいきたい。

評価
生徒 A
保護者 A